

尼崎市とコロナ

問題で交渉に 20名参加

6月28日、午後3時から尼崎市役所会議室で新型コロナウイルスからいのちと暮らしを守る尼崎の会（借家人組合団体加盟）から6団体20名が参加し、市側から副市長、医務官など5名と要請署名で交渉を行いました。

明と各団体の現状と支援を求める発言を行い、これに対して市側の回答がありました。

1、すべての市民にPCR検査を行い、無症状感染者の早期発見、高齢者・介護施設、学校、保育園など検査の拡充を求めた。

冒頭、尼崎の会の中川事務局長から4月18日の署名出発集会以後、2ヶ月間に取組んだ7464筆を尼崎市に手渡しました。続いて要請署名の4項目毎の説



会する検査を求めた。回答、行なっている。3、保健所の増設と職員を増員してほしい。回答、一時は外部からの支援で切り抜けられた。現状では国基準を守ってお

り、問題なく運営されている。

4、コロナ禍で生活困窮者に支援を求めた。回答、尼崎医療生協は独自要求9項目の要望書を提出。

新婦人の会尼崎支部は災害時に備えて備蓄している生理用品を学校のトイレに設置が喜ばれており、今後予算を組んでほしい。

兵庫県借地借家人組合は改正セーフティネット法に基づき住宅困窮者に住宅の確保、住居確保給付金制度の延長、公営住宅新規建設についていずれも回答なし。

大塚 伝

入会者紹介

山本さん 小田南

高齢者に住宅アンケート調査

「コラム記事」

65歳以上の4人に1人が賃貸住宅への入居拒否を経験。

64、2%は知っている

今年5月に全国で65歳以上の人を対象にインターネットによるアンケート調査を実施、その質問のうち「賃貸住宅の入居を断れた」人は23、4%の内5回以上断られた経験ある人は13、4%となった。

6%と低く、今コロナ感染で「住宅難民問題を知らない」という20歳代、30歳代の6割が知らないと答えた。65以上の高齢者が「賃貸住宅に引越さずらい」という現状についてどう思うか」の問いに

1、年令を理由に住まいの選択できないのはおかしい63%。

1、年令を理由に住まいの選択できないのはおかしい63%。

2、「将来のことを不安に思うか67、8%。

2、「将来のことを不安に思うか67、8%。

3、「この問題を社会の課題として周知が必要」72%であった。

3、「この問題を社会の課題として周知が必要」72%であった。

お知らせ

○街頭宣伝チラシ配布
8月16日（月）
午後1時50分
ご参加下さい 組合事務所集合

○弁護士無料相談
尼崎あおぞら法律事務所
8月18日（水）
午後2時、組合事務所

○伊東司法書士無料相談
7月24日
8月14日、28日 10時、組合事務所

○西宮相談会
7月21日
西宮民商事事務所

○リメイク教室
8月3日（火）9時半
民主共同センター3階

○お盆休み
8月11日～15日まで

主な活動

6月

9日 河崎さん打合せ
12日 第2回立退き相談会開催（西難波町1丁目）

14日 役員会
登記簿謄本取寄せ（西難波町1丁目）

15日 コロナ署名、代表者会議

16日 更新料の件で仲介業者と話し合う（河崎さん）

18日 新聞・ニュース発送

21日 街頭宣伝 2名
・原状回復費で管理会社と話し合い解決（今月ニュースを参照）

23日 ニュース編集会議
・全借連3役会議

24日 西宮相談会開く
26日 第3回相談会（西難波1丁目）

27日 知名さんと話す
28日 コロナで対市交渉（ニュースを参照）

30日 伊島・松島各調停で裁判所へ
・地代支払いで受理拒否（西難波1丁目）

7月
1日 大阪法務局で供託受理される



簡単に自分の生まれた年の西暦を出す方法

生年月日に25をプラスすると簡単に西暦が出ます。

例えば、昭和20年生まれの人だと+25
1945年生まれになります。

ご協力の要請

●最低賃金引き上げ署名、7月20日、切、書名・回収にご協力下さい。

●家賃補助創設署名国会請願が延期になりましたのでただ今集めています。

お礼

●コロナ感染からいのちと暮らしを守る署名716筆提出、ご協力有難うございました。

